

医療法人社団豊生会 介護老人保健施設 ひまわり

住所
札幌市東区東苗穂3条1丁目2-18
TEL: 011-781-8800

開設：平成10年 併設型 入所90名 通所100名

ひまわりの活動実績

■地域への広報

- 1)新聞折り込み…北海道新聞に27,000部
- 2)チラシ折り込み…①町内会のサマーフェス等に配布②郵便局5箇所に配布
- 3)ポスター掲示…郵便局、地区会館、法人関連事業所の約50ヶ所
- 4)法人が運営する地域サロンで案内

■事前説明会参加者数…53名(①8月19日35名、②8月23日18名)

■就労マッチング参加者数…30名

■職場研修参加者数…6名

■継続雇用…6名(常勤換算1.6名)

取組み内容

1. 業務の効率化・介護福祉士等の働き方を検討
2. ジョブマッチングの開催(地域への広報、事前説明会、マッチング)
3. 地域人材への研修



地域住民への事前説明会では講義や施設見学のほか簡単な体操も取り入れ、施設へ親しみを感じてもらえるよう工夫をした。



介護助手一人ひとりにあわせた指導を心掛けた。11月には交流会を開催し、仕事のやりがいや困ったことなど、介護助手とざっくばらんに意見を交わしあった。

取組みの総括



村井久美
介護主任

取組みから得た成果「業務の見直しと施設内の連携促進に寄与」

今まで何の疑問もなく行っていた業務の時間帯や人員体制などを改めて見直す機会になったことは大きかったです。また、介護助手さんの受け入れに際して他職種からも色々意見が挙がったことで、連携促進にもつながったように思います。あとは、交流会で介護助手さんから「もっと利用者さんと関わりたい」「お話しして笑顔が見たい」といった仕事に対する意欲や、「行くところができてうれしい」「お給料をいただいて孫にプレゼントを買えた」などの言葉を直接聞くことができ、こちらとしても取り組んで本当に良かったと感じています。



取組みのなかで生じた課題「想定外のことに対応しきれなかった」

介護助手さんによって年齢も違えば、仕事のスピードや理解力には差があることから、用意していたマニュアルはほぼ使わずに、OJT方式により現場重視で仕事を覚えてもらいました。それでも仕事が予定通り進まずに1日の予定を変更せざるをえなかったり、こちらの指示内容が介護助手さんに正しく伝わらず、現場が右往左往してしまうことがありました。もっと介護助手さん一人ひとりの能力や得意なことを把握し、その人に合った仕事内容や対処法を用意しておくか、さまざまなパターンを想定した受け入れ体制を整備するといった対策を講じておけば無駄ありませんでしたし、現場も納得できる成果が表れたのではと思っています。



今後について「それぞれにあった働き方を考える」

研修期間は仕事を覚えていただくことに注力しましたが、交流会でお話しをお聞きしたように、介護助手さんの中には利用者さんとの関わりや仕事への楽しさを求めている方もいます。これからは、そうしたさまざまな思いをしっかり汲み取った仕事のあり方を考える必要があると思っています。そして私たち介護職が、利用者さんに適切なケアを提供するために、介護助手さんの力をどうお借りすればいいかを考えていきたいですね。

介護助手さんから

「誰かに必要とされる喜びを実感」

長田美代子さん(72歳)

主人を亡くして以来、生きる目的を見失ってふさぎ込んでいたのですが、お友達から誘われたことをきっかけに挑戦してみることにしました。上司にも恵まれていますし、行く場所があるということや誰かに必要とされる喜び、そしてそれがお給料として返ってくることで責任感も感じられています。ご飯も美味しく食べるようになり、明るく健康的になったと周りから言われています。自分の将来の生き方も、より具体的にイメージできるようになりました。

